

事業概要説明シート

事務事業番号 10501340008

事務事業名	「いじめ専用ホットライン」推進事業(教育相談事業)		
事業開始年度	2006(H18)年度	担当部署	学校教育部 教育相談課

根拠法令	子どもの笑顔を守るコール事業実施決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> その他( )
目的 (何のために)	学校園における幼児・児童・生徒に係るいじめ問題の課題解決を図る。
対象 (誰・何を対象に)	枚方市在住の幼児・児童・生徒、保護者
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話相談員を配置し、学校園における幼児・児童・生徒に係るいじめ問題の相談に応じる。</li> <li>相談日時は、平日の月曜日から金曜日の9時から17時。</li> </ul>
類似事業	大阪府教育センターすこやか教育相談
事業の必要性	電話相談窓口は、電話でなら相談できる幼児・児童・生徒、保護者からのいじめ問題の問題解決のために必要である。

コスト										
		H23年度決算			H24年度決算			H25年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費			
正職員		0.30人	2,427千円	1.00人	8,000千円	1.00人	7,906千円			
	再任用職員		0千円		0千円		0千円			
	非常勤職員等			5.00人	6,676千円	5.00人	6,757千円			
人件費計(A)			2,427千円		14,676千円		14,663千円			
直接経費(B)			2,010千円		2,037千円		2,380千円			
総事業費(A+B)			4,437千円		16,713千円		17,043千円			

財源内訳										
		H23年度決算			H24年度決算			H25年度当初予算		
国庫支出金		0千円		0千円		0千円		0千円		
府支出金		0千円		0千円		0千円		0千円		
受益者負担 (使用料等)		0千円		0千円		0千円		0千円		
その他		0千円		0千円		0千円		0千円		
一般財源		4,437千円		16,713千円		17,043千円		17,043千円		

平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容						金 額	
	電話相談員活動報償金						1,838千円	
	周知カード作成費用(印刷製本費)						84千円	
	電話設置費用(通信運搬費)						91千円	

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10501340008

事務事業名	「いじめ専用ホットライン」推進事業(教育相談事業)		
事業開始年度	2006(H18)年度	担当部署	学校教育部 教育相談課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 「いじめ専用ホットライン」への相談件数	件	42	60	—
	② 「いじめ専用ホットライン」への相談人数	件	38	40	—
	③ 枚方市立小中学校におけるいじめ発生件数	件	85	136	—
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費/相談件数	円	105,643	278,550	259,652
	② 事業費/相談人数	円	116,763	417,825	389,477
成果目標 (目標とする成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ専用ホットライン」への相談について、学校へ情報提供を行うとともに、早期解決に向けて学校と連携し、取組を行う。</li> <li>「いじめ専用ホットライン」推進事業を、幼児・児童・生徒及び保護者に周知するためのPRに努める。</li> </ul>				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)					
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度からは「子どもの笑顔を守るコール事業」に、「いじめ専用ホットライン」と「教育安心ホットライン」の学校教育に関する相談電話窓口を一本化した。</li> <li>平成24年度の事務事業実績測定調書からは「子どもの笑顔を守るコール事業」を「教育相談事業」の中に組み入れて調書を作成しているため、人件費の中に「継続教育相談」の相談員等の報酬が含まれていることから、23年度より増額されている。</li> </ul>				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策(平成24年度)	現状のまま継続	引き続き電話相談を行い、いじめ等の早期発見・早期対応に努める。			
一次評価結果(平成24年度)	相談件数についての分析・検証が必要				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	<p>相談件数等が増加傾向にあるため、いじめ専用ホットラインをはじめとする教育相談の窓口が、より相談しやすい環境となるよう充実させるとともに、引き続き、全児童・生徒に相談窓口の啓発カードを配布するなど、相談窓口の効果的な広報に努めます。</p> <p>また、本市独自に作成した枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)等を各校園で効果的に活用することで、いじめの未然防止を図ります。</p>			